

学術フォーラムの概要について（事後報告）

- 1 名称：安全保障と学術の関係：日本学術会議の立場
- 2 日本学術会議以外の共同主催団体等：なし
- 3 開催日時：平成29年2月4日（土） 13時00分～17時00分
- 4 開催場所：日本学術会議講堂

5 開催趣旨：

日本学術会議は1950年、1967年に「戦争を目的とする科学研究」を行わないとの声明を発した。近年、軍事と学術が各方面で接近を見せる中、民生的な研究と軍事的な研究との関係をどうとらえるかや、軍事研究が学術の公開性・透明性に及ぼす影響などをめぐって審議すべく、「安全保障と学術に関する検討委員会」が設置された。同委員会の中間報告を受けて審議の状況等を紹介するとともに、内外から意見を聴取するため、学術フォーラムを開催する。

- 6 参加人数：305名
うち講演者等：34名（講演者等18名、スタッフ16名）

7 特記事項：

1) メディアによる取材・報道等の状況

平成29年2月5日（日） 毎日新聞（朝刊2面）
朝日新聞（朝刊3面）
読売新聞（朝刊32面）
東京新聞（朝刊3面）
産経新聞（朝刊28面）

平成29年2月6日（月） 日経新聞（朝刊13面）

平成29年2月5日（日） NHK19時ニュース等
テレ朝ニュース

平成29年2月6日（月） 7時30分～7時40分 NHKおはよう日本

平成29年2月7日（火） 23時20分～23時30分 TBSニュース23
など

- 2) 本学術フォーラムに関しては、『学術の動向』5月号にて掲載予定。